

プログラム名：安全・安心な社会のための犯罪・テロ対策技術等
を実用化するプログラム

応募番号：0505

提案プロジェクト名：可搬型生物剤・化学剤検知用バイオセンサの開発

研究代表者名：民谷 栄一

提案機関名：大阪大学

コメント

本提案は、開発する装置のイメージやコスト、装置開発のロードマップ等が具体的かつ明確に示され、また、責任機関には基盤技術の開発実績があり、参画機関との分担・連携が充実しており、迅速な研究開発が期待できるなど、高く評価できる。

今後の実施に当たっては、実用化主体を明確にするため、大気捕集から検知までの統合プロトタイプ製作、及び事業化に向けた企業の参画体制の構築が望まれる。また、現場ニーズに合うように検知エレメントの保守性・信頼性を具体的に検討することを期待する。